

介護DXの進め方

～ICT,IoT導入等による業務改善～





CARE KARTE

ケアコネクトジャパン
について



介護記録ICT に特化している会社です

(記録入力ツールの経緯)

SONY
PalmTop
Computer



SHARP
ZAURUS
シリーズ



PocketPC
対応PDA
(HP等)



iOS
・iPad
・iPadmini
・iPhone
・iPodtouch



介護施設向け記録管理システム歴

30年

センサー等との連携歴

10年

介護ビッグデータの
研究歴6年

ちょうじゅ

クレヨン



89
1990
91
92
93
94
95
96
97
98
99
2000
01
02
03
04
05
06
07
08
09
2010
11
12
13
14
15
16
17
18
19
2020
21
22

鈴与倉庫株式会社の介護システム部門として創立

高齢者介護情報システム「SARA」構築

高齢者施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」の開発を開始

高齢者施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」にてモデル事業

高齢者施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」にて研究事業

高齢者施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」にてモデル事業

高齢者施設向け記録管理システム「ちょうじゅ」リリース

「ちょうじゅ」介護保険請求システムリリース

障害者施設向け記録管理システム「クレヨン」リリース

MBOによる株式会社富士データシステム設立

「クレヨン」支援費請求システムリリース

福岡営業所開設

「ちょうじゅ」「クレヨン」スマートクライアント版リリース

データセンターサービス開始、iPad等のiOS版記録入力ツールリリース

介護施設内の様々な機器との連携を開始

東京営業所開設 ASP・SaaS・クラウドアワードにてグランプリ受賞

岐阜羽島営業所開設 MCPC awardにて優秀プロダクト賞受賞

沖縄営業所開設

地域ケア経営マネジメント研究所開設

札幌営業所開設

「CAREKARTE(ケアカルテ)」リリース(ちょうじゅ、クレヨンからシステム名を変更)

東京・福岡・沖縄→支店、京都支店開設 ベトナムに現地法人「ケアコネクトベトナム」開設

株式会社ケアコネクトジャパンに社名変更

株式会社エクサウィザーズと業務提携



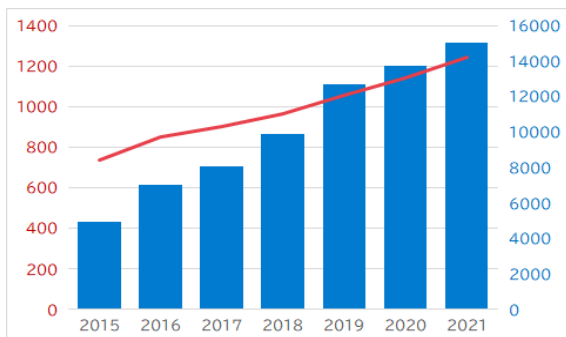


法人数

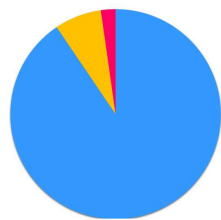
1,241

事業所数

15,052



高齢者介護事業所 90.6%
 障害者総合支援事業所 7.2%
 その他の事業所 2.2%



総事業所数(上位10)

事業所数

事業所数	事業所名
1,660	1 通所介護
1027	2 居宅介護支援
805	3 特別養護老人ホーム
781	4 短期入所生活介護
576	5 訪問介護
557	6 グループホーム
525	7 有料老人ホーム
302	8 訪問入浴介護
256	9 小規模多機能型居宅介護
220	10 通所リハビリ

事業所数 ランキング	都道府県	法人数	高齢者介護 事業所数	総合支援 事業所数	その他 事業所数	事業所数合計
1	東京都	114	1328	54	37	1419
2	静岡県	92	1025	136	30	1191
3	神奈川県	76	979	106	32	1117
4	京都府	53	888	108	26	1022
5	愛知県	54	720	61	14	795
5	埼玉県	55	671	26	8	705
7	千葉県	38	585	49	15	649
8	福岡県	63	602	3	12	617
9	北海道	63	528	49	22	599
10	兵庫県	37	535	11	11	557
11	大阪府	58	484	59	12	555
12	沖縄県	56	452	73	15	540
13	岐阜県	46	470	37	6	513
14	茨城県	26	287	41	4	332
15	大分県	30	308	12	8	328
16	広島県	18	285	31	8	324
17	長崎県	30	296	14	11	321
18	滋賀県	20	281	16	5	302
19	岡山県	21	212	1	4	217
20	佐賀県	27	211	0	3	214
20	宮城県	7	200	4	4	208
22	愛媛県	16	200	2	3	205
23	栃木県	19	173	20	6	199
24	群馬県	14	164	8	1	173
25	長野県	10	137	7	5	149
26	高知県	8	121	11	3	135
27	香川県	14	129	0	0	129
28	奈良県	14	107	12	1	120
29	岩手県	12	108	4	3	115
30	鹿児島県	16	106	5	4	115
31	山口県	13	80	32	2	114
32	新潟県	7	108	4	0	112
33	和歌山県	10	104	4	2	110
34	熊本県	12	102	0	1	103
35	三重県	14	80	12	9	101
36	青森県	7	89	11	0	100
37	宮崎県	16	91	0	4	95
37	石川県	10	61	10	0	71
39	秋田県	4	63	1	0	64
40	福島県	6	57	3	1	61
41	山梨県	6	58	0	1	59
42	山形県	2	15	28	1	44
43	福井県	9	27	10	1	38
44	鳥取県	4	22	12	1	35
45	徳島県	6	35	0	0	35
46	島根県	7	30	0	1	31
47	富山県	1	14	0	0	14
48	ベトナム	2	2	0	0	2
合計		1243	13630	1087	337	15054



CARE KARTE

自己紹介

前原 貫二 サービス統括部 次長

<略歴>

日本大卒

- ①ゲーム会社に就職
 - ・関東地区の家電チャネル営業
 - ・新宿・渋谷のアミューズメント施設の企画・運営
- ②医療器販売、介護施設運営をする会社に転職
 - ・GH,DS等在宅系サービスを縦断的に管理・運営
- ③介護施設運営会社に転職
 - ・有老,SS,DS等のサービスを管理・運営
- ④現職に至る



<介護系資格>

介護福祉士、認知症研修(開設者,管理者,実践者)、福祉用具プランナー
福祉用具専門相談員、福祉住環境コーディネーター2級、他

<IT系資格>

ITコーディネーター, AI・IoTジュニアコンサルタント他

<その他資格>

PADIスクーバ・インストラクター、AEAJアロマセラピーアドバイザー
日本茶アドバイザー他



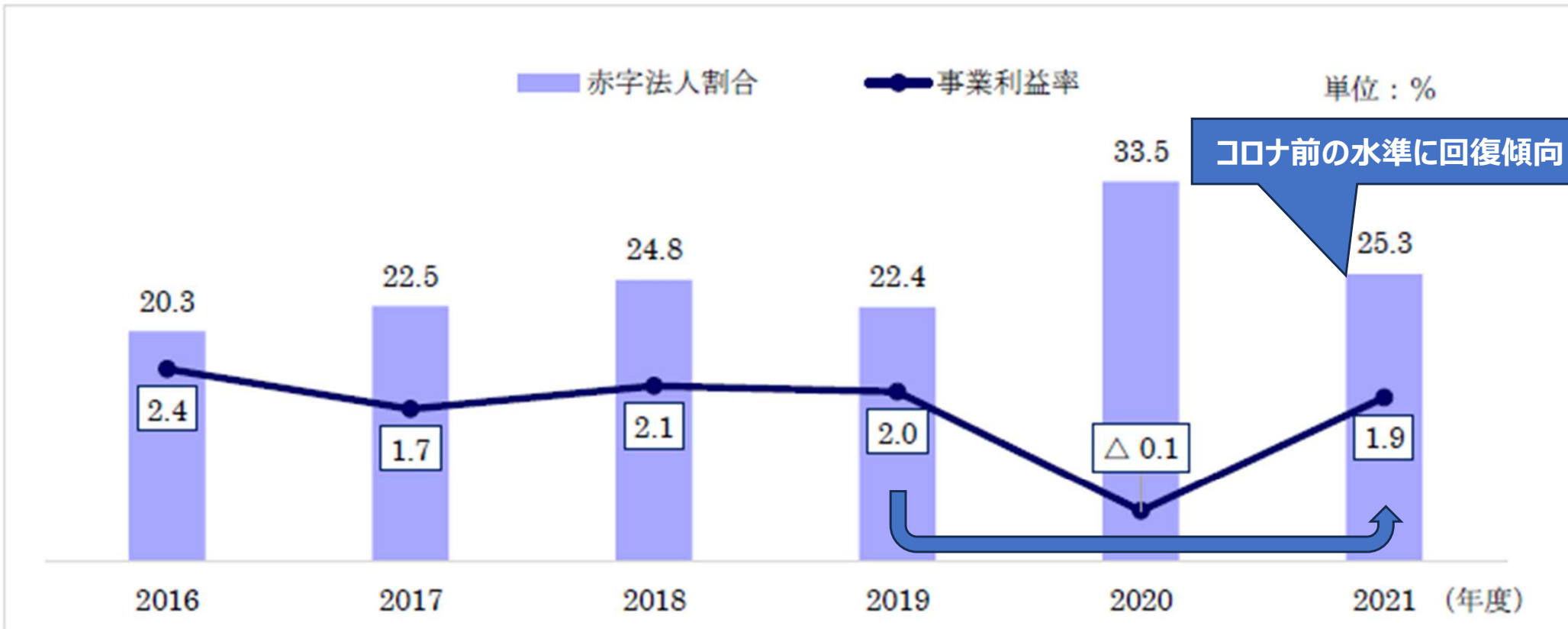
CARE KARTE

老健の現状

事業利益率が上昇し、赤字法人割合は縮小

- 医療法人全体の経営状況
 - ✓ 2021 年度は収益の増加が費用の増加を上回ったことにより、事業収益率は 1.9%と2020 年度より 2.0 ポイント上昇し、2019 年度とほぼ同水準に回復
 - ✓ 事業収益規模の大きい法人は前年度より赤字法人割合が大幅に縮小し、2 割以下となったのに対して、規模の小さい法人は依然 3 割程度が赤字
- 病院主体法人の経営状況
 - ✓ 事業利益率は 2.1 ポイント上昇の 1.7%となり、赤字法人割合は 22.8%
- 老健主体法人の経営状況
 - ✓ 事業利益率は 0.9 ポイント上昇の 3.0%となり、赤字法人割合は 23.0%
- 診療所主体法人の経営状況
 - ✓ 事業利益率は 2.9 ポイント上昇の 4.3%となり、赤字法人割合は 23.6%

▼医療法人の赤字法人割合と事業収益対事業利益率の推移



注 1) コロナ対応等の補助金について、多くの医療法人では事業外収益に計上しているものの、一部の医療法人では事業収益内や特別利益に計上している。2020年度、2021年度の事業利益率についても、一部の補助金収益が含まれている点に留意されたい

注 2) 経常利益が0円未満を赤字とした（以下記載がない場合は同じ）

地道な経費対策
できていますか？

ここの的確な費用
転換できていますか？

(図表 1) 2021 年度 医療法人の経営状況

区分	2020 年度 n=2,626	2021 年度 n=2,669	差 (2021 - 2020)
従事者数	人 260.9	266.9	6.0
事業収益	千円 2,330,456	2,501,856	171,399
事業費用	千円 2,332,216	2,454,625	122,409
事業利益	千円 Δ 1,760	47,231	48,991
人件費率	% 58.3	56.6	Δ1.7
医療材料費率	% 12.5	12.6	0.1
給食材料費率	% 2.6	2.6	0.0
経費率	% 22.3	21.9	Δ0.4
減価償却費率	% 4.3	4.3	Δ0.0
事業利益率	% Δ 0.1	1.9	2.0
経常利益率	% 2.1	4.8	2.7
経常収益対支払利息率	% 0.6	0.5	Δ0.1
従事者 1 人当たり事業収益	千円 8,933	9,373	441
従事者 1 人当たり人件費	千円 5,211	5,309	98
流動比率	% 201.7	205.5	3.8
純資産比率	% 32.7	33.5	0.8
借入金比率	% 62.9	60.3	Δ2.6
赤字法人割合	% 33.5	25.3	Δ8.1

注) 人件費率、医療材料費率、給食材料費率、経費率、および減価償却費率は、いずれも事業収益に対する割合 (以下同じ)

《経営分析参考指標》 2021年度決算分-社会福祉法人の概要-

<収支の状況>

区分				2020年度	2021年度	差引 (2021-2020)
社会福祉法人数		法人		8,483	8,351	△ 132
1 法人当たり従事者数		人		112.2	120.5	8.2
収支の状況	総収益 構成比	サービス活動収益	%	95.3	96.0	0.7
		サービス活動外収益	%	1.0	0.9	△ 0.1
		特別収益	%	3.7	3.1	△ 0.6
	サービス 活動収益 構成比	介護保険事業収益	%	52.6	50.9	△ 1.8
		老人福祉事業収益	%	2.9	2.8	△ 0.1
		児童福祉事業収益	%	2.4	2.4	0.1
		保育事業収益	%	21.3	21.4	0.0
		就労支援事業収益	%	0.8	1.0	0.2
		障害福祉サービス等事業収益	%	15.1	15.7	0.6
		生活保護事業収益	%	0.4	0.5	0.1
		医療事業収益	%	2.8	4.0	1.2
		その他収益	%	1.6	1.3	△ 0.2
		費用 サービス 活動費用 の割合	人件費	%	67.3	67.3
	経費		%	23.8	24.1	0.3
	事業費		事業費	%	13.3	13.5
事務費			%	10.4	10.6	0.2
減価償却費	%		4.7	4.8	0.1	
その他	%		1.1	1.3	0.1	
計	%	96.9	97.5	0.6		
サービス活動収益対サービス活動増減差額比率		%	3.1	2.5	△ 0.6	
経常収益対経常増減差額比率		%	3.3	2.7	△ 0.6	
従事者1人当たりサービス活動収益		千円	6,022	6,095	73	
労働生産性		千円	4,306	4,332	27	
従事者1人当たり人件費		千円	4,050	4,102	52	
労働分配率		%	94.1	94.7	0.6	
経常収益対支払利息率		%	0.5	0.4	△ 0.0	
赤字法人（経常増減差額が0未満）の割合		%	25.9	31.3	5.4	

(図表 2) 2021 年度 医療法人の経営状況 事業収益規模別

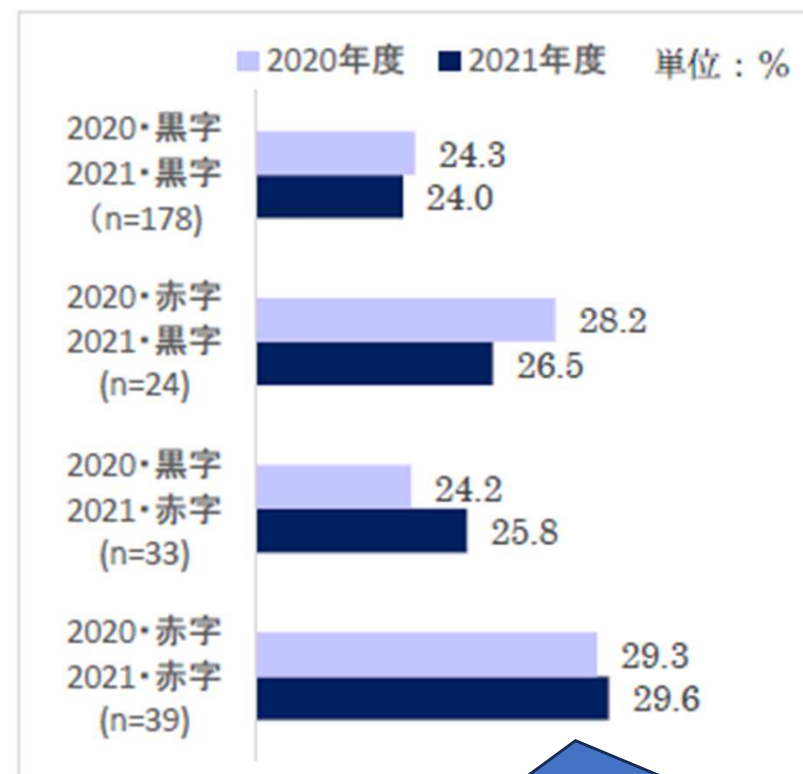
皆様の法人はどのゾーン？

区 分		10 億円 未満	10 億円以上 20 億円未満	20 億円以上 30 億円未満	30 億円以上 40 億円未満	40 億円以上 50 億円未満	50 億円以上 60 億円未満	60 億円以上
		n=1,130	n=612	n=310	n=191	n=117	n=88	n=221
従事者数	人	60.3	178.5	280.8	387.9	494.9	588.3	1,195.6
事業収益	千円	485,015	1,459,692	2,411,656	3,468,118	4,425,896	5,408,627	12,815,570
事業費用	千円	482,086	1,455,523	2,385,828	3,405,986	4,371,113	5,298,840	12,434,339
事業利益	千円	2,930	4,169	25,828	62,133	54,783	109,787	381,231
人件費率	%	50.9	58.8	59.3	58.5	59.7	58.9	55.0
医療材料費率	%	8.9	9.3	10.1	11.3	10.9	11.4	16.0
給食材料費率	%	2.9	3.6	3.2	2.8	2.7	2.7	2.0
経費率	%	32.5	24.0	22.5	21.4	20.9	20.5	19.5
減価償却費率	%	4.2	4.1	3.9	4.2	4.5	4.5	4.5
事業利益率	%	0.6	0.3	1.1	1.8	1.2	2.0	3.0
経常利益率	%	2.7	2.6	3.8	4.6	5.0	4.6	6.2
経常収益対支払利息率	%	0.6	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4
従事者 1 人当たり事業収益	千円	8,045	8,178	8,590	8,941	8,943	9,194	10,719
従事者 1 人当たり人件費	千円	4,094	4,806	5,091	5,229	5,335	5,412	5,898
流動比率	%	314.2	250.2	262.9	217.9	193.1	187.7	170.6
純資産比率	%	32.3	35.6	39.0	36.7	33.8	32.3	30.6
借入金比率	%	72.2	69.2	60.0	62.2	68.8	64.5	52.6
赤字法人割合	%	31.6	28.6	19.7	14.7	17.1	13.6	10.4
(参考)2020 年度赤字法人割合	%	36.2	33.9	29.1	26.2	33.0	35.1	28.7

(図表 7) 老健主体法人の 2020・2021 年度の経営状況 (2 か年度同一法人)

区 分		n=274		
		2020 年度	2021 年度	差 (2021-2020)
従事者数	人	176.1	180.3	4.3
事業収益	千円	1,250,783	1,287,977	37,194
事業費用	千円	1,224,169	1,249,622	25,453
事業利益	千円	26,613	38,355	11,742
人件費率	%	58.6	58.0	△0.5
医療材料費率	%	4.5	4.2	△0.3
給食材料費率	%	5.0	5.3	0.3
経費率	%	25.3	25.0	△0.3
減価償却費率	%	4.5	4.5	△0.0
事業利益率	%	2.1	3.0	0.9
経常利益率	%	3.6	3.7	0.2
経常収益対支払利息率	%	0.8	0.7	△0.0
従事者 1 人当たり事業収益	千円	7,103	7,142	39
従事者 1 人当たり人件費	千円	4,161	4,146	△16
流動比率	%	284.2	269.1	△15.1
純資産比率	%	40.3	41.0	0.7
借入金比率	%	72.9	69.7	△3.2
赤字法人割合	%	26.3	23.0	△3.3

(図表 8) 黒字赤字別 経費率の推移 (2 か年度同一法人)



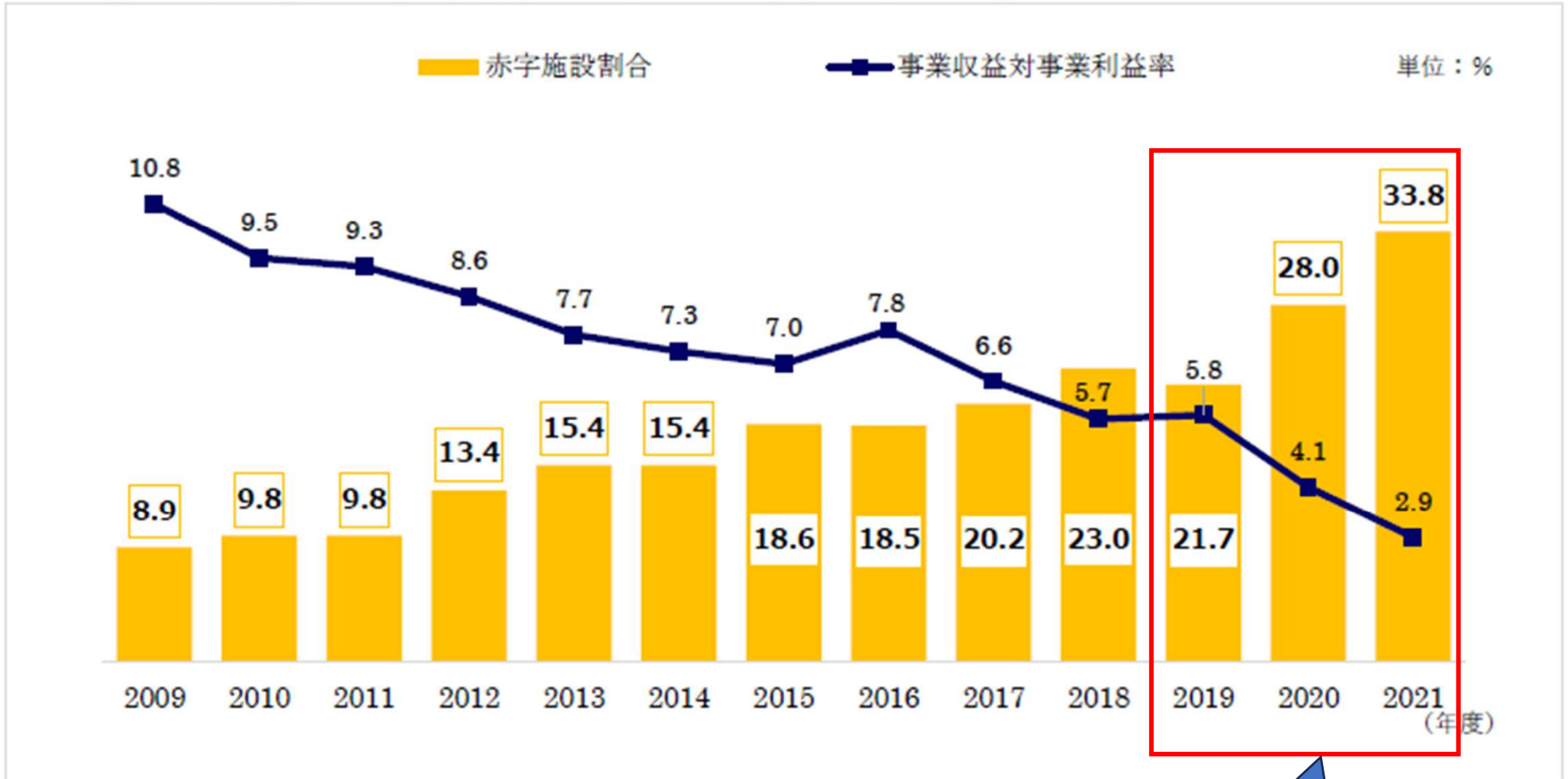
地道な経費対策がモノを言ってる！？

改善してるからいいね！
ではなく
老健の施設としての経営状況は悪化していることから、ほかにも複数の事業を実施することで、経営が改善した法人もあったのではないかと推察される、とのこと。

入所利用率は 80%台まで落ち込み、経営状況は急激に悪化

- 2020 年度・2021 年度の経年比較
 - ✓ 入所利用率は 2.3 ポイント低下し、88.0%まで落ち込み
 - ✓ 事業利益率は 1.2 ポイント低下して 2.9%となり、赤字施設割合は 33.8%まで拡大
- 黒字施設・赤字施設別比較
 - ✓ 赤字施設は入所・通所ともに利用率が低く、入所単価も低いことから、施設運営に必要な収益の確保が課題
 - ✓ 医療機関や家庭などの関係機関との連携に取り組み、地道な新規入所者の確保と入所単価の引き上げが経営安定化のカギ

▼ 介護老人保健施設の赤字施設割合と事業収益対事業利益率の推移



なすがまま・・・ですか？

(図表 5) 黒字赤字別 2021 年度老健の経営状況

指標名		単位	黒字	赤字	差(黒字-赤字)
施設数		-	979	499	-
定員数	入所	人	102.2	96.9	5.3
	通所	人	44.2	43.2	1.0
利用率	入所	%	89.3	85.4	3.9
	通所	%	63.3	58.5	4.8
要介護度 (入所)		-	3.16	3.15	0.01
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)算定率		%	91.2	86.8	4.4
利用者 1 人 1 日当たり 事業収益	入所	円	14,451	14,303	148
	通所	円	10,965	10,963	2
人件費率		%	58.9	67.6	△ 8.7
経費率		%	19.3	22.5	△ 3.2
事業利益率		%	7.1	△ 6.2	13.3
経常利益率		%	7.6	△ 5.9	13.5
利用者 10 人当たり従事者数		人	6.45	7.01	△ 0.56
従事者 1 人当たり事業収益		千円	7,458	6,844	614
従事者 1 人当たり人件費		千円	4,394	4,626	△ 232

(図表 8) 2021 年度 黒字・赤字別 特別 養護老人ホーム (ユニット型) の経営状況

指標名	単位	ユニット型		
		黒字施設	赤字施設	差(黒字-赤字)
施設数	-	2,218	972	-
定員数(特養入所)	人	61.1	52.4	8.7
定員数(短期入所)	人	13.7	12.3	1.4
利用率(特養入所)	%	94.9	91.1	3.8
利用率(短期入所)	%	80.6	68.6	12.0
特養待機登録者数	人	73.2	63.8	9.5
要介護度(特養入所)	-	3.88	3.88	△ 0.00
利用者単価	円	14,607	14,448	158
利用者 10 人当たり 従事者数	人	7.75	8.64	△ 0.90
うち介護職員数	人	5.30	5.83	△ 0.54
定員 1 人当たり サービス活動収益	千円	4,967	4,662	305
人件費率	%	60.8	69.7	△ 8.9
経費率	%	24.1	26.5	△ 2.4
サービス活動増減 差額比率	%	8.4	△ 5.4	13.8
経常増減差額比率	%	7.8	△ 6.2	14.0
従事者 1 人当たり 人件費	千円	4,182	4,251	△ 68

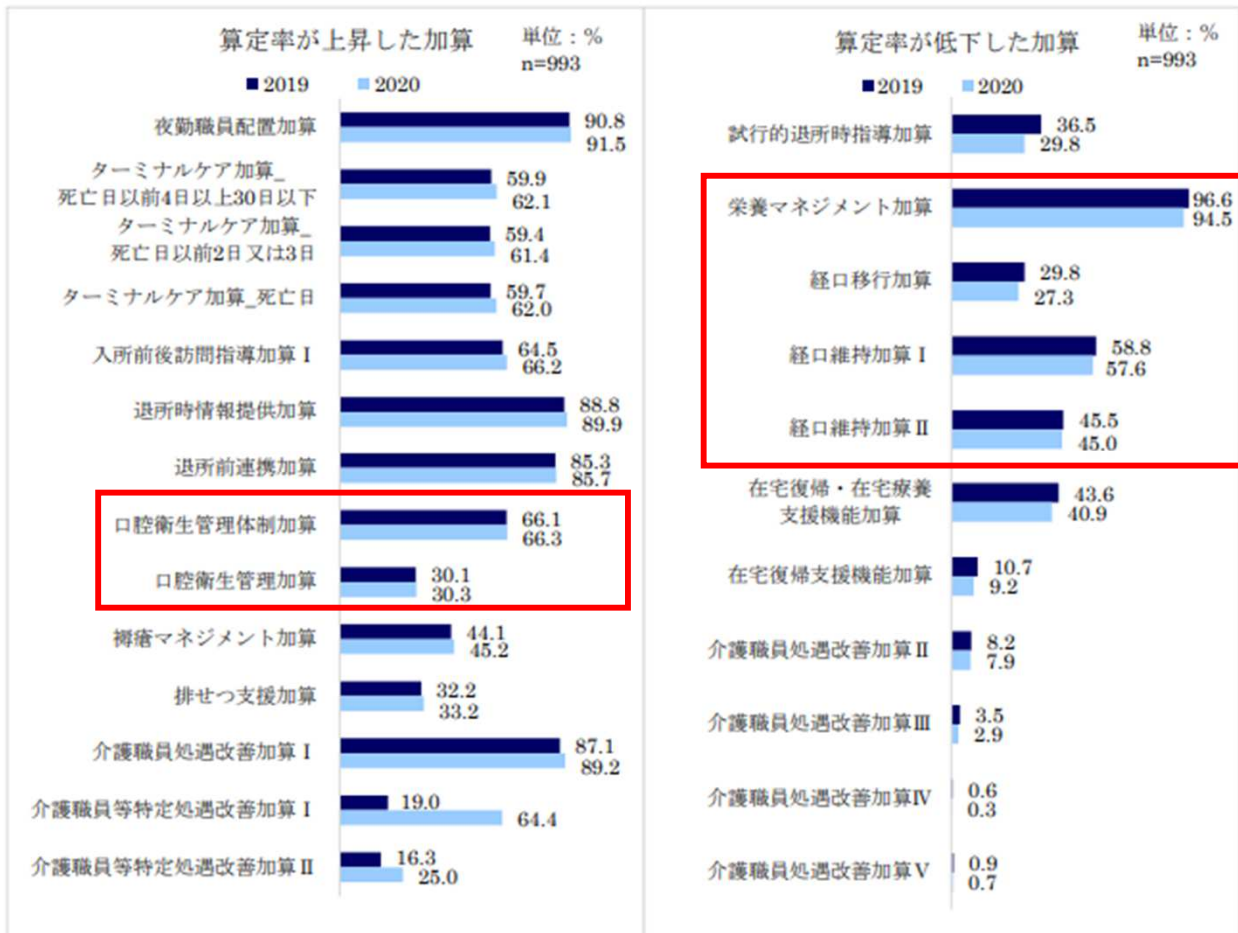
(図表 5) 黒字赤字別 2021 年度老健の経営状況

指標名		単位	黒字	赤字	差(黒字 -赤字)
施設数		-	979	499	-
定員数	入所	人	102.2	96.9	5.3
	通所	人	44.2	43.2	1.0
利用率	入所	%	89.3	85.4	3.9
	通所	%	63.3	58.5	4.8
要介護度 (入所)		-	3.16	3.15	0.01
介護職員処遇改善加算(I)算定率		%	91.2	86.8	4.4
利用者 1 人 1 日当たり 事業収益	入所	円	14,451	14,303	148
	通所	円	10,965	10,963	2
人件費率		%	58.9	67.6	△ 8.7
経費率		%	19.3	22.5	△ 3.2
事業利益率		%	7.1	△ 6.2	13.3
経常利益率		%	7.6	△ 5.9	13.5
利用者 10 人当たり従 事者数		人	6.45	7.01	△ 0.56
従事者 1 人当たり事 業収益		千円	7,458	6,844	614
従事者 1 人当たり人 件費		千円	4,394	4,626	△ 232

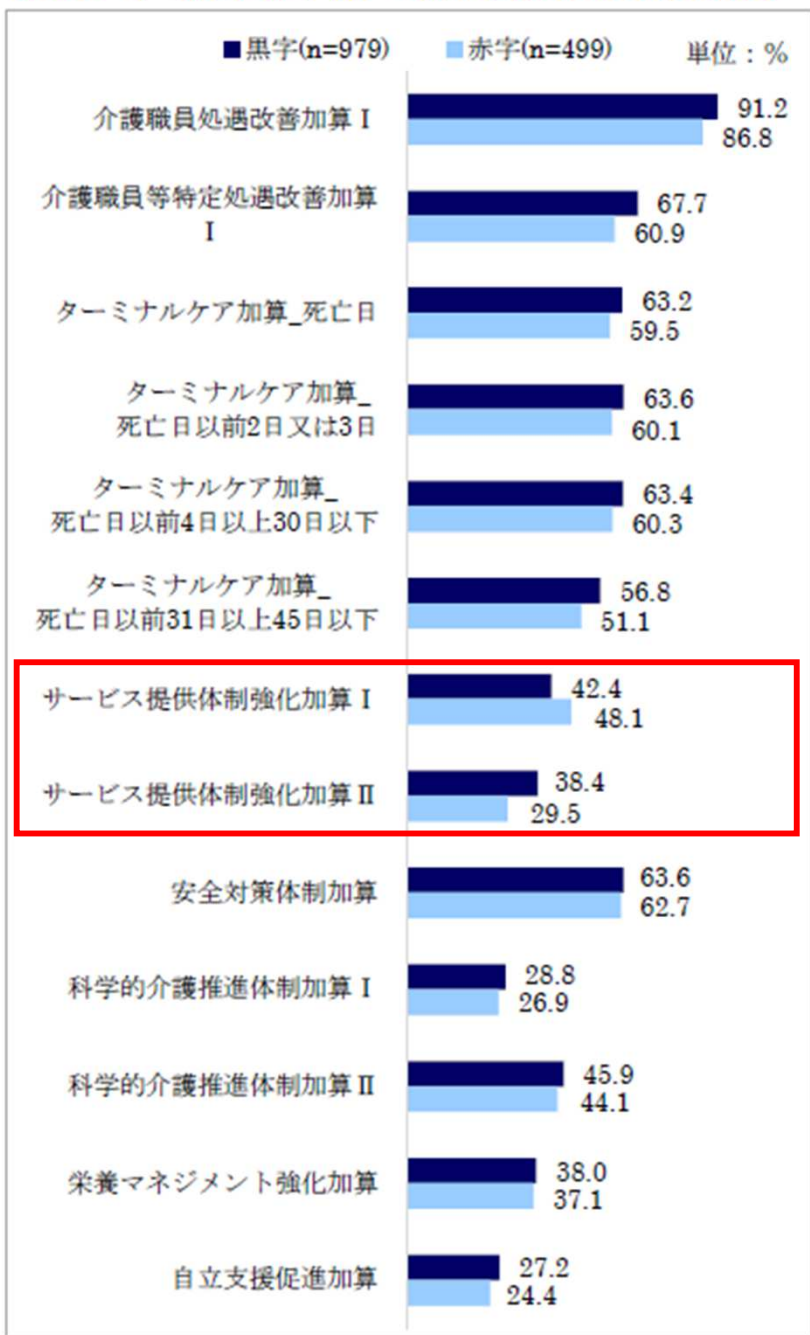
(図表 4) 黒字事業所・赤字事業所別の通
所介護の経営状況

指標	単位	黒字 事業所	赤字 事業所	差(黒字 -赤字)
事業所数	-	3,039	2,642	-
定員数	人	29.8	29.1	0.7
利用率	%	74.2	64.9	9.3
登録者数	人	83.7	70.8	12.9
うち要介護者	人	62.2	53.4	8.8
要介護度	-	1.83	1.77	0.07
利用者単価	円	9,268	9,156	112
利用者 10 人当たり従事者数	人	5.19	6.06	△0.87
うち介護職員	人	2.81	3.22	△0.41
人件費率	%	61.8	77.9	△16.6
経費率	%	22.4	29.6	△7.1
減価償却費率	%	3.4	5.2	△1.8
サービス活動増減差額比率	%	12.2	△13.4	25.6
経常増減差額比率	%	12.4	△13.1	25.5
従事者 1 人当たりサービ ス活動収益	千円	5,579	4,631	948
従事者 1 人当たり人件費	千円	3,419	3,607	△188

(図表 6) 2 か年度同一施設比較 老健の加算の算定状況



(図表 7) 黒字赤字別 老健の加算の算定状況



3. (1) リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の取組の連携・強化（その5）

介護保険施設における口腔衛生の管理や栄養ケア・マネジメントの強化

- 施設系サービスについて、口腔衛生管理体制加算を廃止し、基本サービスとして、口腔衛生の管理体制を整備し、状態に応じた口腔衛生の管理の実施を求める。【省令改正、告示改正】（※3年の経過措置期間を設ける）
- 施設系サービスについて、栄養マネジメント加算を廃止し、現行の栄養士に加えて管理栄養士の配置を位置付けるとともに、基本サービスとして、状態に応じた栄養管理の計画的な実施を求める（※3年の経過措置期間を設ける）。入所者全員への丁寧な栄養ケアの実施や体制強化等を評価する加算を新設し、低栄養リスク改善加算は廃止する。【省令改正、告示改正】

一部R3.1.13諮問・答申済

施設系サービス

【基準】

運営基準（省令）に以下を規定する。（※3年の経過措置期間を設ける）

- 入所者の口腔の健康の保持を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、口腔衛生の管理体制を整備し、各入所者の状態に応じた口腔衛生の管理を計画的に行うこと。 **（新設）**
- 入所者の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的に行うこと。 **（新設）**
- （現行）栄養士を1以上配置 → （改定後）栄養士又は管理栄養士を1以上配置

【報酬】

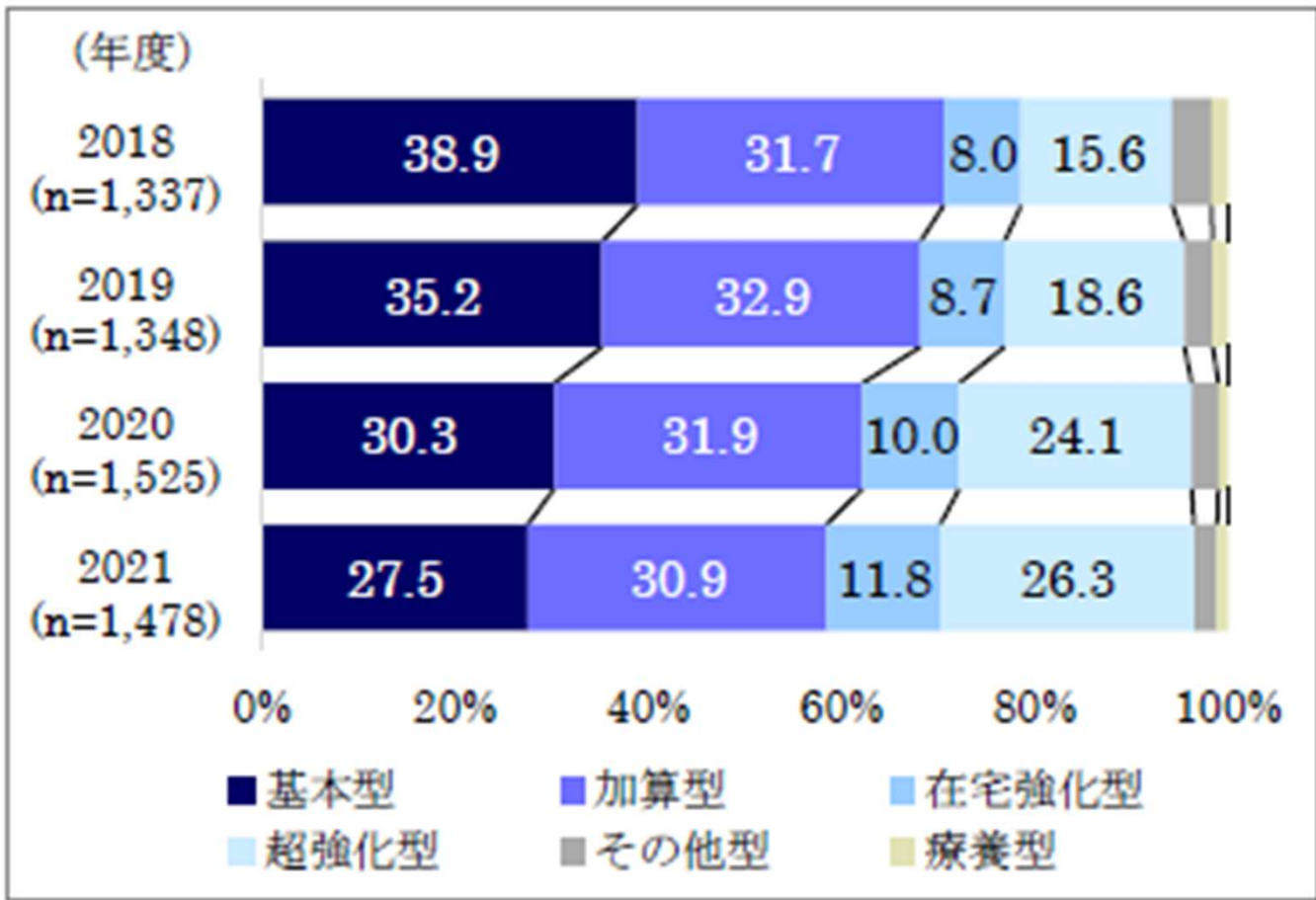
<現行>		<改定後>	
口腔衛生管理体制加算	30単位/月	→	（廃止）
栄養マネジメント加算	14単位/日	→	（廃止）
なし		→	栄養ケア・マネジメントの未実施 14単位/日減算 （※3年の経過措置期間を設ける）
低栄養リスク改善加算	300単位/月	→	栄養マネジメント強化加算 11単位/日 （新設）
		→	（廃止）

【算定要件】

<栄養マネジメント強化加算>

- ・管理栄養士を常勤換算方式で入所者の数を50（施設に常勤栄養士を1人以上配置し、給食管理を行っている場合は70）で除して得た数以上配置すること
- ・低栄養状態のリスクが高い入所者に対し、
医師、管理栄養士、看護師等が共同して作成した栄養ケア計画に従い、食事の観察（ミールラウンド）を週3回以上行い、入所者ごとの栄養状態、嗜好等を踏まえた食事の調整等を実施すること
- ・入所者が、退所する場合において、管理栄養士が退所後の食事に関する相談支援を行うこと
- ・低栄養状態のリスクが低い入所者にも、食事の際に変化を把握し、問題がある場合は、早期に対応すること
- ・入所者ごとの栄養状態等の情報を厚生労働省に提出し、継続的な栄養管理の実施に当たって、当該情報その他継続的な栄養管理の適切かつ有効な実施のために必要な情報を活用していること（CHASEへのデータ提出とフィードバックの活用）

(図表 8) 老健の施設類型の推移



老健に求められる役割が在宅支援・在宅復帰機能である以上は、今後もこの移行の流れは継続し
 数年後には超強化型がもっとも多い施設類型になることが予想される。
 わけですが・・・
 皆さんの施設は？



CARE KARTE

私たちがお手伝いできる
経営課題解決

経営を変える



経営課題を見つける

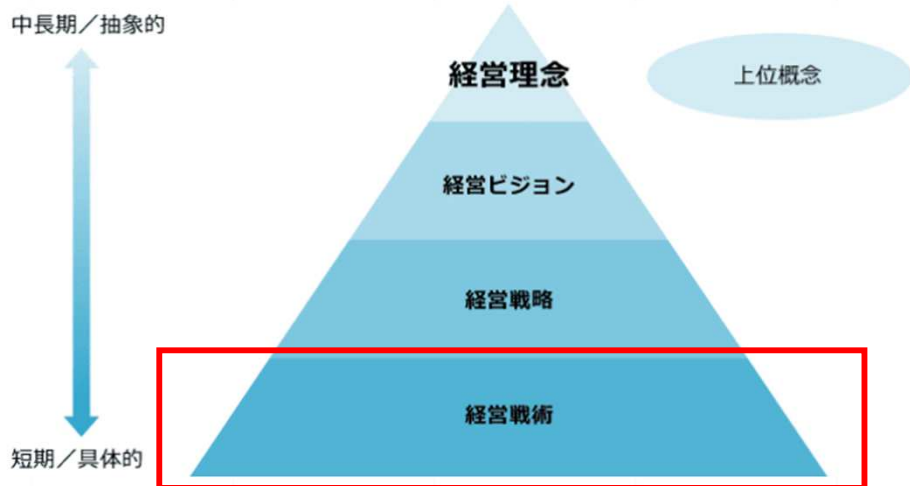


思考・行動を共有する



経営課題が解決できる

<経営理念の概念図>



<良い経営理念の条件>

- わかりやすい言葉で表現されていること
- 内容がしっかりしていること
- 内容に一貫性があること
- 自社の置かれた状況にマッチしていること
- 経営ビジョンや経営戦略などを考えるヒントがあること
- 企業の成長性を感じられること
- 社会貢献につながる内容であること

ex. 情報革命で人々を幸せに ソフトバンクG

<企業理念と経営理念>

	企業理念	経営理念
何を明文化するか	企業のあり方・ 存在意義や目的	経営の目標・方針・手段
変更のタイミング	企業の哲学であるため 5~10年単位で使用し 大きな変更は少ない	経営の方針であるため 経営者が変わるときに 理念も変わることもある

おもに製造業で行われる業務改善の手法としてE CRSがあります。

Elminate : その業務なくせないか？

※ダブルチェック、トリプルチェック

Combine : その業務とその業務一緒にできないか？

※重複した議題の会議

Rearrange : 業務の順番、業務をする場所を変えてみたら？

※身近には整理整頓、紙書類のデジタル化

Simplify : その業務、もっと単純にできないか？

※定型業務のテンプレート化、マニュアル化

万が一、もし何かあったら？って現場の仕事

『on』『on』ってなってないですか？→これ『介護現場あるある』です。

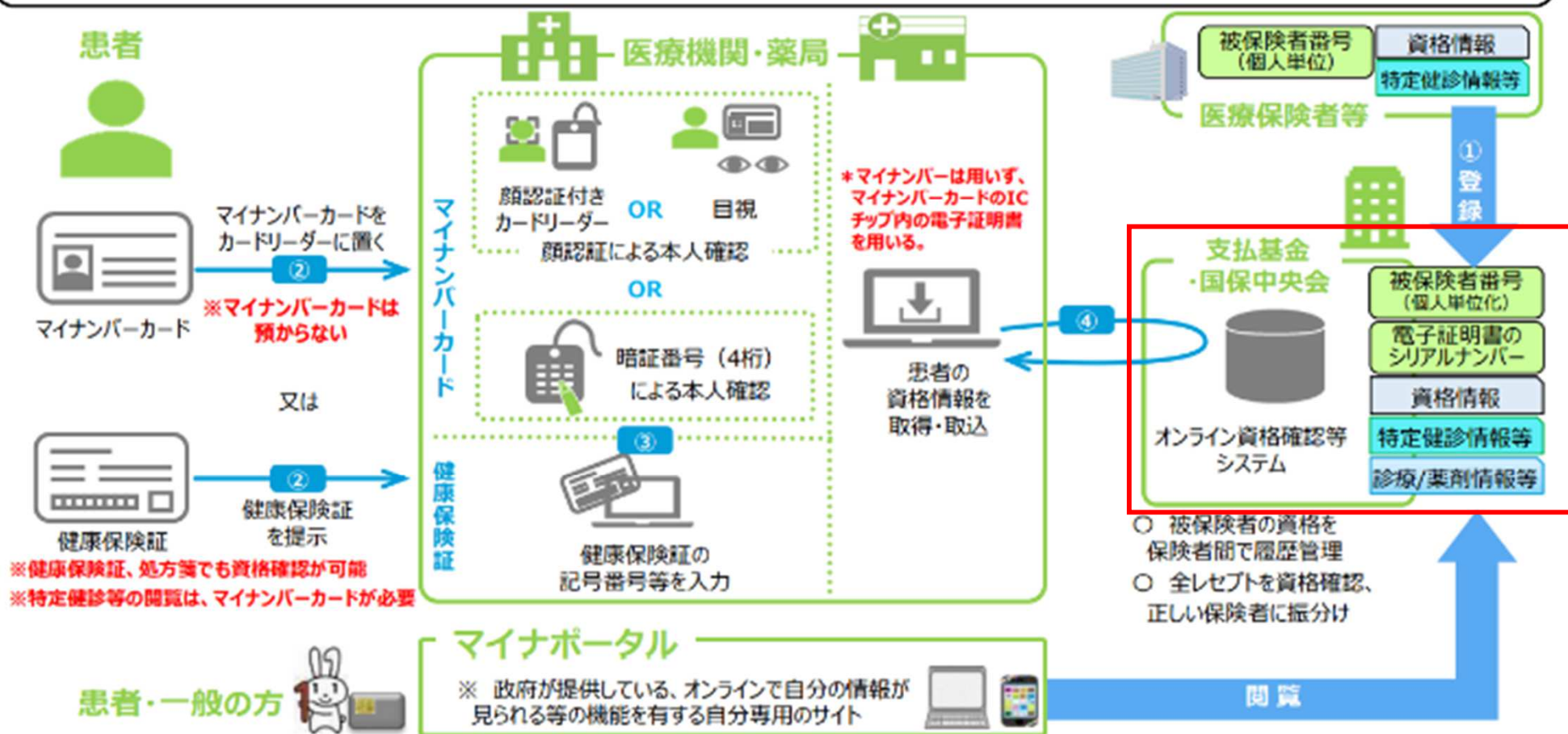
答え(**課題**)は、現場が無意識に持っています。

大切なのは、その**答えを引き出せる**管理者がいますか？

会社のTOPは、出たアイデアに『**Goサイン**』を出す**覚悟**がありますか？

オンライン資格確認の導入（マイナンバーカードの保険証利用）について

- オンライン資格確認等システムの導入により、
 - ① 医療機関・薬局の窓口で、**患者の方の直近の資格情報等（加入している医療保険や自己負担限度額等）が確認できる**ようになり、期限切れの保険証による受診で発生する過誤請求や手入力による手間等による**事務コストが削減**できます。
 - ② また、マイナンバーカードを用いた本人確認を行うことにより、医療機関や薬局において特定健診等の情報や診療/薬剤情報を閲覧できるようになり、**より良い医療を受けられる環境**となります（マイナポータルでの閲覧も可能）。



経済産業省ではDXを以下のように定義

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、**競争上の優位性を確立**すること

■デジタル化

従来のアナログ業務のなかで、デジタル技術を使って効率化できる部分を改善すること。

ex. 会議をオンラインで行う

書類をシステム上で管理しペーパーレス

ハンコレスにするetc.

■IT化

業務のプロセスそのものを維持しつつ、業務を効率化させてプロセス全体を最適化することを目指す。

ex. タイムカードを社員証の読み取りに変える

集計にデジタルツールを使う

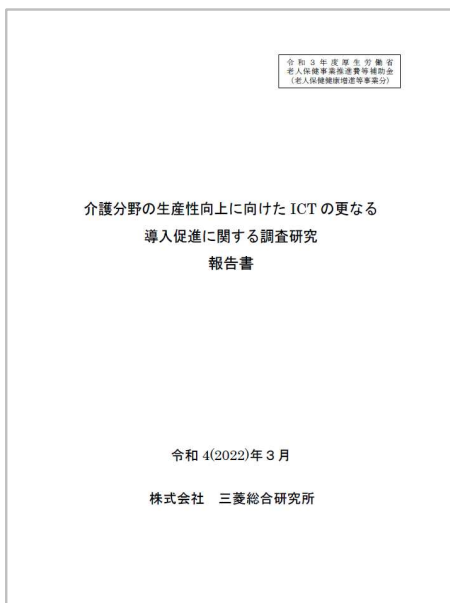
定型業務を自動化(RPA)etc.

DXは、企業が市場の変化に対応しつつ、デジタル技術の導入により新たな価値、体験を提供することを指しており、そのために行われる**社内の変革も含まれます。**

一方でIT化やデジタル化は、DXを実現するための手段で、DXの前段階に相当します。例えば、紙の書類を使わず、社内会議をすべてオンライン会議に変更することは、特定の業務をデジタル化しただけに過ぎません。それだけではDXを実現したとはいえないのです。

つまり、**IT化やデジタル化を進めた先にある顧客エンゲージメントを高めること、顧客体験価値の向上を見据えるのがDXだ**といえます

令和3年度 老人保健事業推進費等補助金にて調査研究を行った「介護分野の生産性向上に向けたICTの更なる導入促進に関する調査研究 報告書」（令和4年3月 株式会社 三菱総合研究所）では、**9割が介護ソフトを導入している**が、スマートフォン等を使用した、**介護現場に入り込んだシステム運用については、3～4割程度**のみの導入となっている。



C) 導入している介護ソフトについて

1) (1) 介護ソフト導入状況

居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所ともに 9割以上の事業所が介護ソフトを「導入している」と回答した。「導入している」割合は居宅介護支援事業所でより高い結果となった。

(居宅介護支援票)

介護ソフトを導入している事業所は99.1%と、ほとんどの事業所が介護ソフトを導入している。

(サービス票)

介護ソフトを導入している事業所は91%で、1割弱の事業所は介護ソフトを導入していない。居宅サービス種別では、訪問リハビリテーション（73.3%）、訪問入浴介護（78.6%）で導入割合が低かった。

5. 本事業のまとめ

アンケート調査では、ICT機器のうち、デスクトップパソコンやノートパソコンについては居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所ともに7～8割程度が導入していたが、その他の携帯情報端末のスマートフォンやタブレットについてはいずれも3～4割程度のみの導入であった。居宅介護支援事業所、居宅サービス事業所ともに、バックオフィスソフトは約7%、クラウドサービスは15%～20%程度と導入割合が低かった。

経営を変える



経営課題を見つける



思考・行動を共有する



経営課題が解決できる

ここが！DXの目的！役割です！

ICT環境を整える



記録(データ)が集まる



情報の精度が上がる



思考・行動が共有される

記録(データ)とは？

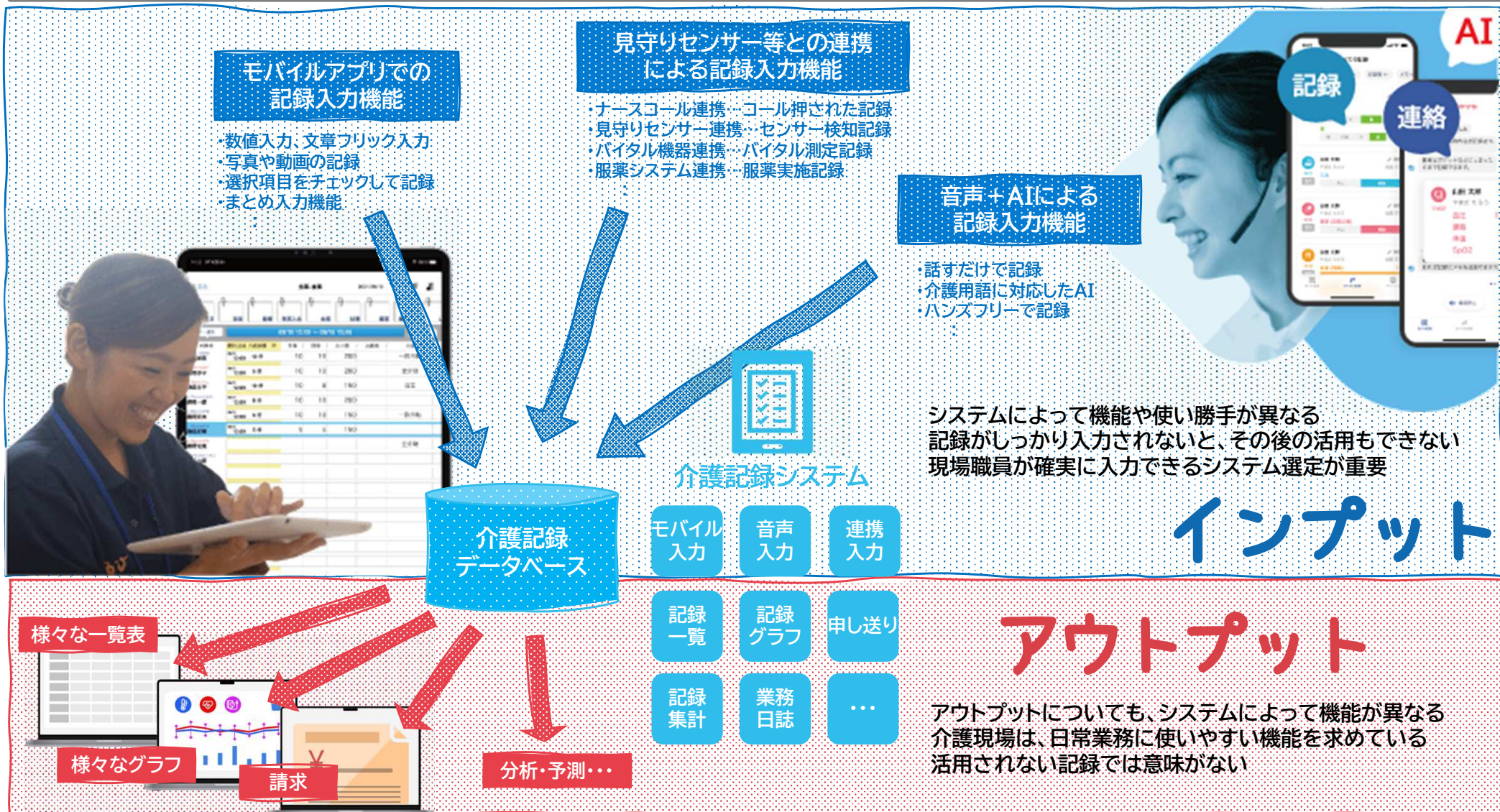
データとは、対象に関する客観的な事実のことであり、事実を記録したものです。記録する媒体は、紙もあれば、スマホもあるでしょう。どのように記録するかといえば、文字、数値、画像、音声などさまざまです。

たとえば

- 今日は、からあげが15個売れた
- 今日は1日24時間、雨が降っていた

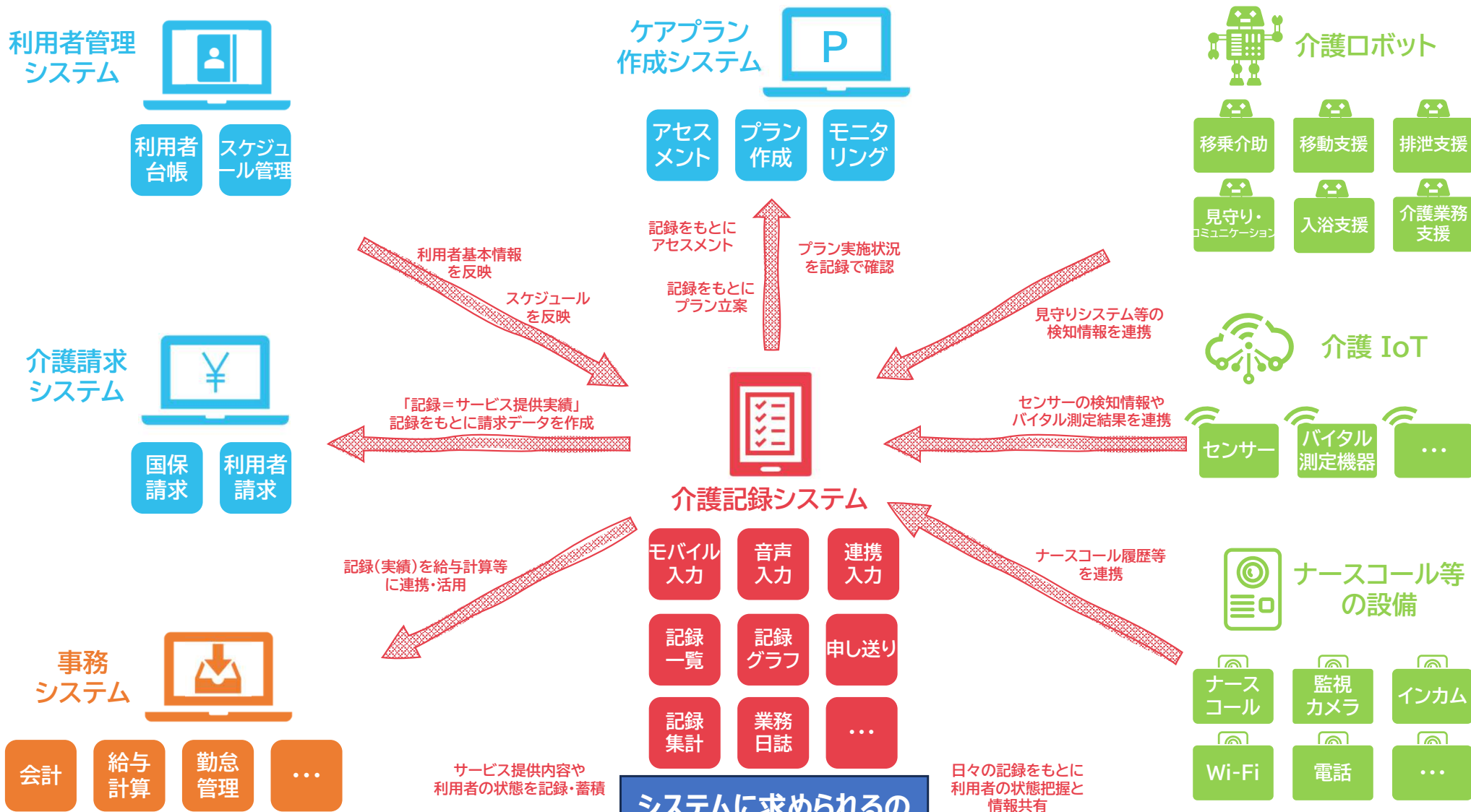
と記録されているとしたら、**これらはデータになります。からあげが5個売れた事実、雨が降っていたという事実を記録しているだけです。**

- ▶ 介護サービス提供のエビデンスとして介護記録が必要であり、手書きの場合の介護スタッフの記録業務量は全業務の30%にも
- ▶ 介護記録システムにより記録業務の省力化を図り、介護サービスや利用者に寄り添う時間を増やすことを目的としている
- ▶ 介護記録システムは介護施設の70% (国調べ)に導入されているが、ICT化に成功しているのは30%程度と思われる
- ▶ システムにより「入力のしやすさ」が大きく異なるため、一度紙に書き、後からまとめてシステムに入力している施設もある



記録(データ)と情報の違い③ 記録がどこから来てまとまっているか？

- ▶ 介護施設＝介護する場所・・・介護職員が介護サービスを提供しやすくするためにシステムや機器がある
- ▶ 介護施設にある様々なシステムや機器は、すべて介護記録システムにつながっている
- ▶ 介護記録システムによるデータ入力・データ活用がしっかりできているか？(できるシステムか?)が重要



情報とは？

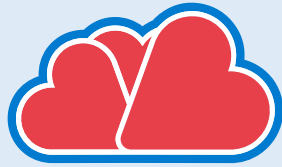
情報とは、データに意味づけ、評価をくわえたものが加わったものです。ある目的をもって、データを収集し、加工したものが情報です。

- からあげの売り上げが1週間ごとに3%上昇している
- 1日24時間、雨が強い日は、客数が10%減少する

「からあげが15個売れた」というのは、現実にとこったことを記録しただけです。

しかし、「からあげが1週間ごとに3%売上が上昇してきていて、からあげよく売れるようになっている」であれば、データが加工され、意味付けがなされています。表やグラフも作成されます。

人が活動をするにあたって役立つのは情報です。データの時点では、人の活動の役に立つものにはなっておらず、**データを加工したり解釈したりして、役に立つ情報となるのです。**



CARE KARTe
ケアカルテ

眠りSCANで検知した睡眠等の情報とCAREKARTEの記録(食事、排泄、バイタル、入浴等々)をあわせて表示することで、日中の様子と睡眠の関係性などの分析に役立てることができます



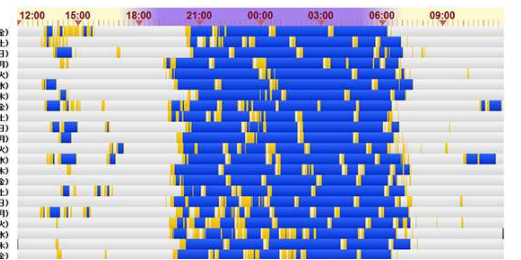
<https://paramount.co.jp/learn/reductionworkburden/nemuriscan>



マットレスの下に設置したセンサにより、体動(寝返り、呼吸、心拍など)を測定して睡眠状態を把握し、ケアプランの改善やスタッフの業務負担軽減、入居者の生活習慣の改善などにお役立ていただけるセンサーです



【リアルタイムモニター】
パソコンなどの端末で施設の各入居者の状態をリアルタイムに一覧で表示されます



【睡眠日誌・呼吸日誌】
測定したデータは睡眠日誌や呼吸日誌として長期的変動を記録、閲覧することができます

データ→情報化の一例？

利用者情報等

- ・利用者ID
- ・ベッド情報等

睡眠データ

- ・利用者ID
- ・日時
- ・呼吸
- ・心拍
- ・離床検知
- ・起き上がり
- ・睡眠状態
- ・記録者ID

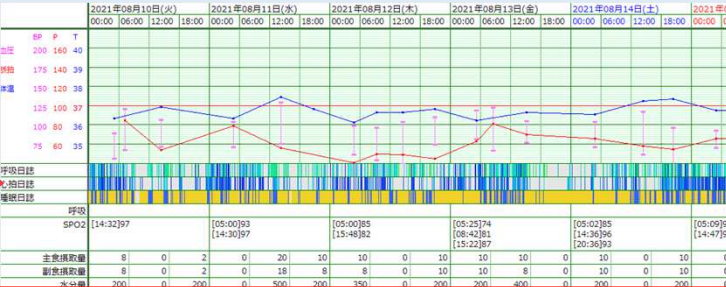
経過記録一覧で利用者の状況把握

氏名	開始	終了	タイトル	食事	水	排泄	バイタル	入浴	記録内容
富士 太郎	15:00	未定	看護指示						【指示書】看護指示、【内容】体位換、高圧吸引器使用介助(特設装置)アスノール塗布(する)指示あり。
	00:00	23:59	呼吸データ						【呼吸】122回/分、心拍56回/分、【休寝】睡眠
			心拍データ						【心拍】100 80 60 90 90 90 120 90 150 90 180 90 210 90
			離床データ						【離床】15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
	01:00		離床						【呼吸】148回/分、心拍57回/分、【休寝】睡眠
	02:00		離床						【呼吸】115回/分、心拍54回/分、【休寝】睡眠
	02:50		コール						【場所】118、【ベッド】1001、【呼出種類】離床、【呼出～応答】11秒、【検知～復旧】10秒
	03:00		離床						【呼吸】133回/分、心拍54回/分、【休寝】睡眠
	03:55		排泄						【方法】オムツ介助(金介助)
	04:00		離床						【呼吸】140回/分、心拍59回/分、【休寝】覚醒
	05:00		離床						【呼吸】118回/分、心拍56回/分、【休寝】覚醒
	05:45		排泄						【方法】オムツ介助(金介助)、【対応】パット交換
	06:00		離床						【呼吸】121回/分、心拍54回/分、【休寝】覚醒
	06:14		コール						【場所】118、【ベッド】1001、【呼出種類】離床、【呼出～応答】7秒、【検知～復旧】10秒

時間軸上で睡眠と食事等介護の相関関係を確認



温度板でバイタルデータと睡眠状態の関係を確認



166 事業所

でツナがっています
※2021.6月時点

ケアカルテ データベース

思考・行動が共有される



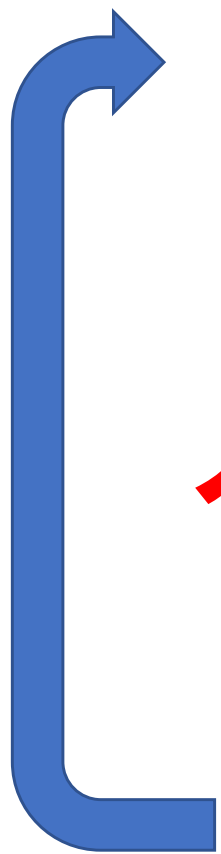
収益が改善される



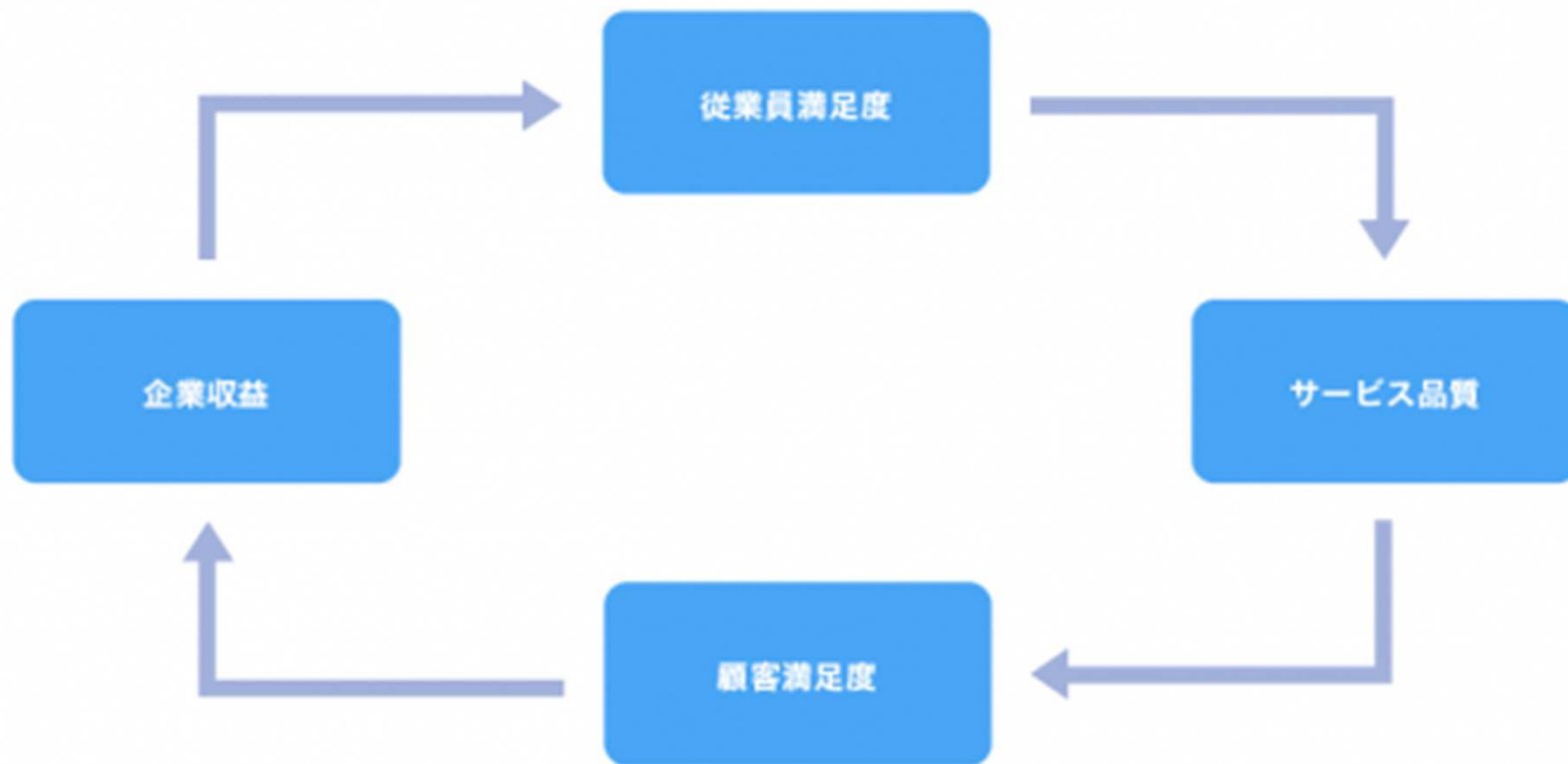
人材が定着・成長する



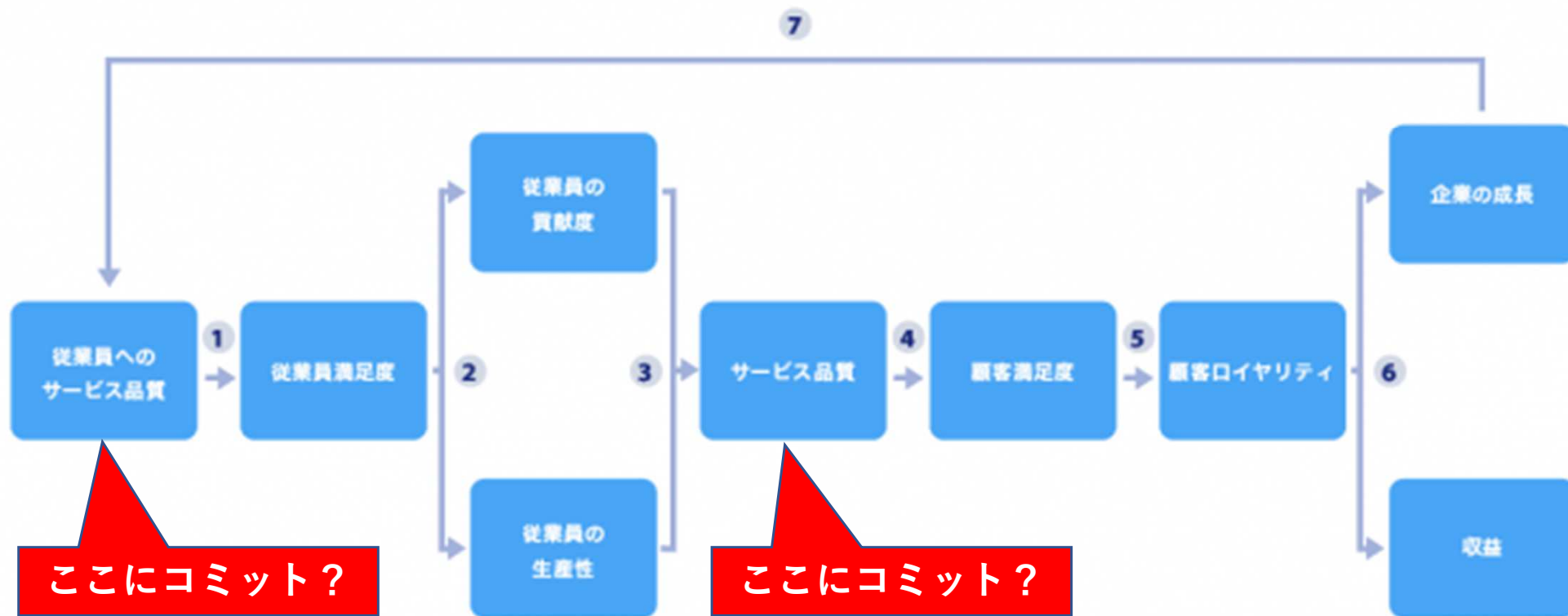
サービスが向上する



サービス・プロフィット・チェーン概略図

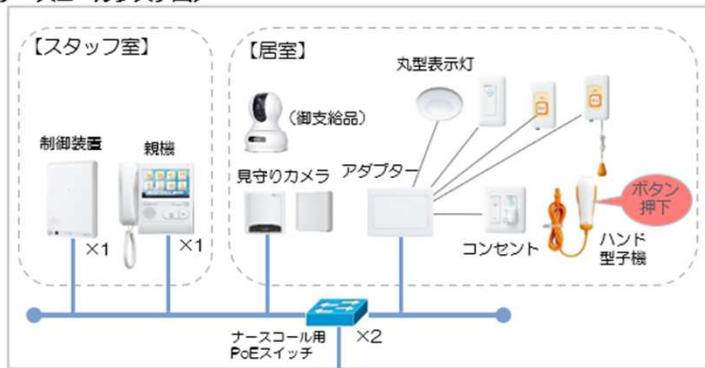


サービス・プロフィット・チェーンの好循環を生むための7つのステップ

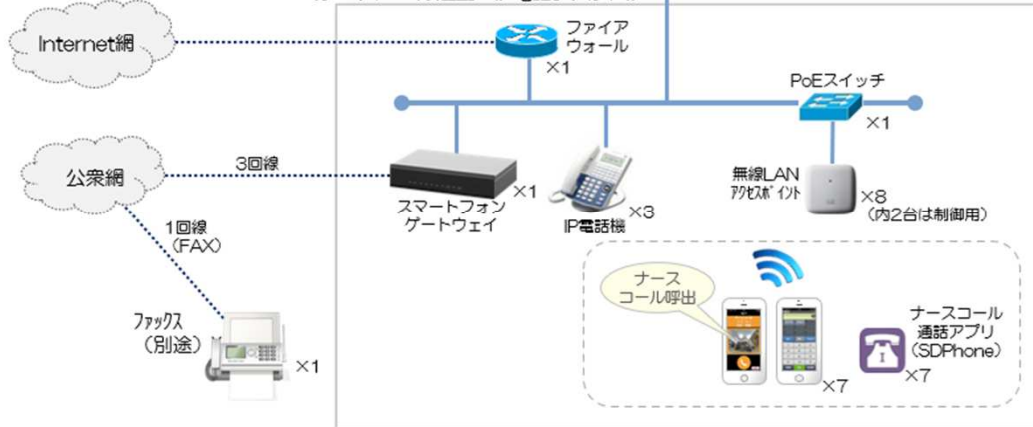


■ ナースコール、IP電話、ネットワーク、無線LAN、iPhoneの構成

＜ナースコールシステム＞



＜ナースコール連動・IP電話システム＞

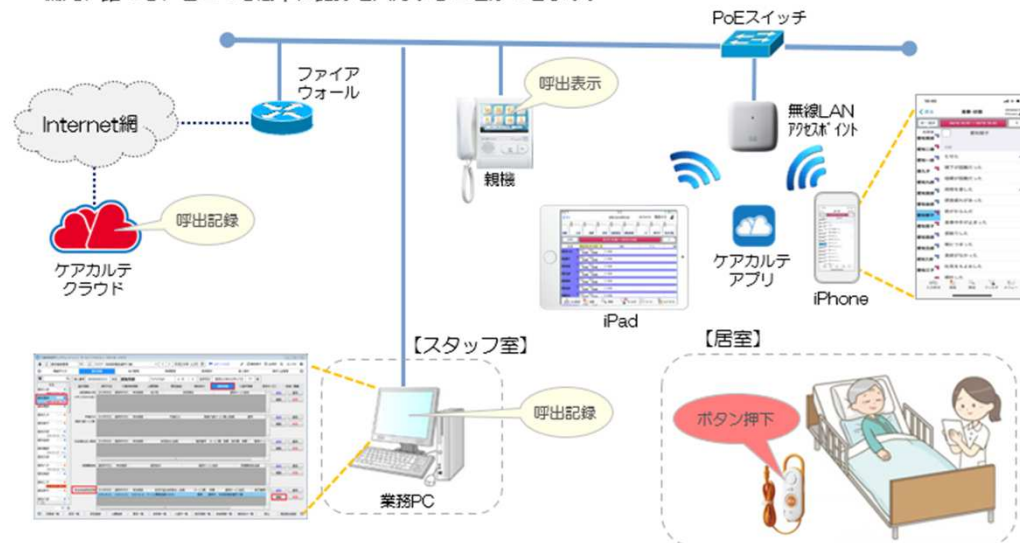


【ハンディ端末】



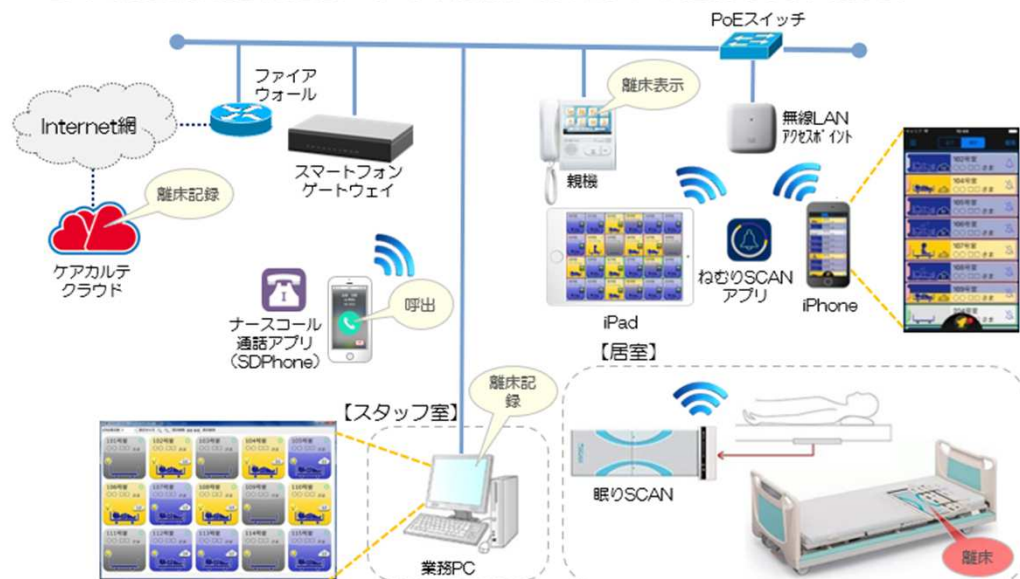
■ 介護システムとの連動 (CAREKARTE)

- ・富士データシステムの介護システム「ケアカルテ」は、携帯端末から素早くに記録を入力できるツールを備え、誰でも、どこでも簡単に記録を入力することができます。



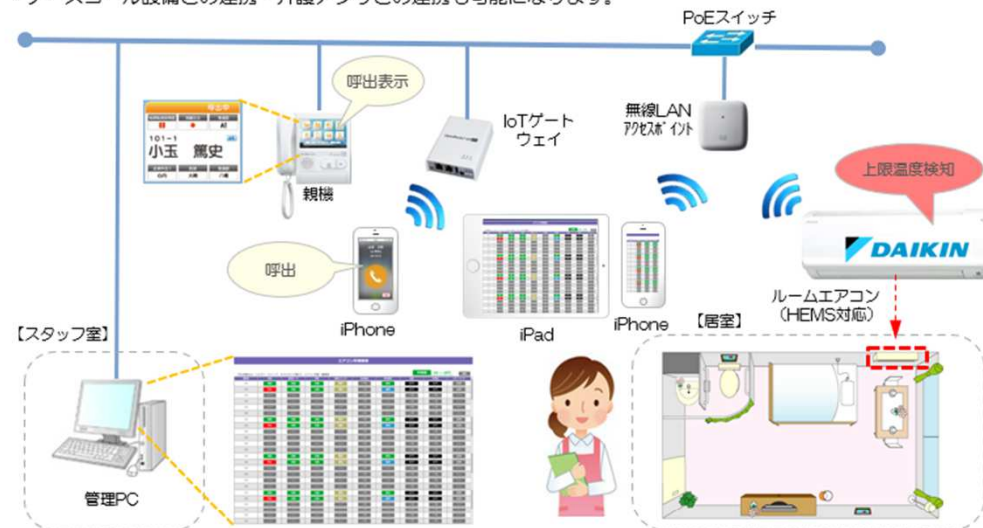
■ 見守りシステムとの連動 (眠りSCAN)

- ・眠りSCANはマットレスの下に設置したセンサにより、体動（寝返り、呼吸、心拍など）を測定し、睡眠状態を把握します。
- ・センサで得られた入居者の状態を、パソコンや携帯端末でリアルタイムに確認することができます。



■ エアコン管理システムとの連動

- ・高齢者施設の居室の温度・湿度およびルームエアコンの状況を管理することができます。
- ・遠隔からルームエアコンの電源をON・OFFができ、温度設定や状態確認もできます。
- ・温度上限警報を設け、発報時にスタッフへ警報を知らせることができます。
- ・エアコン管理端末として、管理者用PC、スマートフォン、タブレットで表示ができます。
- ・ナースコール設備との連携・介護アプリとの連携も可能になります。

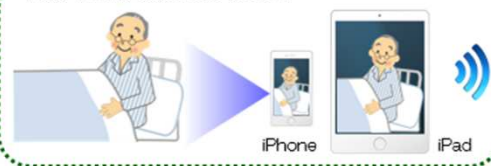


■ 監視カメラシステム

- ・iPhone端末をカメラにしてネットワークビデオレコーダ (NVR) に録画できます。
- ・最大16個の端末からライブモニタリングおよび録画が可能です。
- ・PC、iPhone、iPadで映像を視聴することができます。

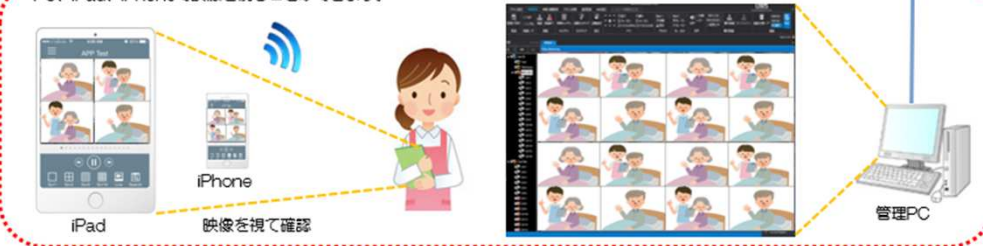
<撮る>

iPad、iPhoneで撮ることができます。



<観る>

PC、iPad、iPhoneで映像を視聴することができます。



令和4年度介護ロボット導入促進事業（補助金事業）※受付は終了しました

記事ID : 0130095 2023年3月10日更新 高齢福祉課 印刷ページ表示 大きな文字で印刷ページ表示

令和4年度介護ロボット導入促進事業補助金 事業内容

岐阜県では、介護人材の確保を目的として、介護保険施設等へ広く介護ロボットの普及を促進し、働きやすい職場環境の構築を図るため、国が公表した重点分野に該当する介護ロボットの導入及び見守り機器導入に伴う通信環境整備に対し、補助金を交付します。

交付要綱等

- [岐阜県介護ロボット導入促進事業費補助金交付要綱 \[PDFファイル/360KB\]](#)
- [補助金申請の流れ \[PDFファイル/271KB\]](#)
- [介護ロボット導入促進事業費補助金Q&A\(令和4年9月16日更新\) \[PDFファイル/376KB\]](#)
- [令和4年度介護ロボット導入促進事業費補助金注意事項\(令和4年9月16日更新\) \[PDFファイル/215KB\]](#)

補助概要

対象事業所

岐阜県内で介護保険法上の指定又は許可を受けている全ての事業所
※申請は法人で行ってください。

補助対象経費

国が公表した重点分野に該当し、介護ロボットの導入（以下1～3の補助要件を満たすこと）、見守り機器導入に伴う通信環境整備。

<介護ロボットの補助要件>

1 下記の分野に該当し、介護従業者の負担軽減効果のある介護ロボットであること。

- ・ 移乗介護機器（装着型、非装着型）
- ・ 移動支援機器（屋外型、屋内型）

令和4年度岐阜県介護事業所におけるICT導入支援事業費補助金 (※受付は終了しました)

記事ID : 0151374 2022年11月19日更新 高齢福祉課 印刷ページ表示 大きな文字で印刷ページ表示

令和4年度介護事業所におけるICT導入支援事業費補助金

岐阜県では、記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行うことが可能なソフトウェア等の導入によって介護事業所における職員の負担軽減や業務の効率化を図り、職場環境の改善や人材確保につなげることを目的に、県内介護事業所のICTの導入に係る経費を助成します。

交付要綱等

- [岐阜県介護事業所におけるICT導入事業費補助金交付要綱 \[PDFファイル/376KB\]](#)
- [留意事項 \(R4年9月16日更新\) \[PDFファイル/1005KB\]](#)
- [よくあるご質問 \(R4年9月16日更新\) \[PDFファイル/1.1MB\]](#)
- [岐阜県介護事業所におけるICT導入事業費補助金申請様式一式 \[Wordファイル/136KB\]](#)

補助概要

事業の概要は以下のとおりです。詳細については、交付要綱及び留意事項をご確認ください。

対象事業所

岐阜県内で介護保険法上の指定又は許可を受けている全ての事業所
※申請は法人が行ってください。

補助対象経費

介護ソフト等のソフトウェア（標準仕様やLIFE対応のための改修経費も含む）

<以下の経費は介護ソフトの導入が補助の前提となります>

KaiGO DX?

デジタル
変革

www.carekarte.jp



1 一元管理・活用



ICT化とは？
情報が分散しては意味がない、情報は一元管理があたり前



現場記録を活用しないと
もったいない、活用ができる情報管理を！

3 現場にあわせてカスタマイズ



現場の運用にあわせて
拡張可能

- ・カスタマイズ
- ・連携オプション等



カスタマイズは弊社専門
スタッフが対応

- ・短納品
- ・低価格

2 記録業務の効率化



現場が確実に使えるツール
iPadで簡単記録入力
全職種の記録入力可能
項目はカスタマイズ
オフラインで入力
記録やグラフを参照可能

4 様々な機器との連携



それぞれ独立した見守りセンサー、それらがCAREKARTEと連携することで、今まで見えなかったデータを可視化！

AI

「話す」だけで、
介護の仕事をシンプルに。

介護スタッフの業務ツールは新ステージへ

「話す」だけで
自動記録。

スマホ+ヘッドセットの音声チャット(インカム)

ハンズフリーで
音声連絡。

音声+AIで入力された記録はCAREKARTEへ

CAREKARTE
に連携。

記録

連絡



リモート体験予約ページ→





様々なシステムや
機器とツナがる。

連携したデータは
ケアカルテに集約。



見守りシステム	as human, for human 眠りSCAN	KONICA MINOLTA HitomeQ Care Support	Panasonic LIFELENS	bio silver a d a m S / アアムス 安心 安全 見守り システム
	NORITSU PRECISION Neos+Care	WORKS ライブコネクト	EcoNaviSta ライフリズムナビ.+Dr. Life Rhythm Navi Plus Doctor	A.I.Viewlife
	株式会社 エヌジェイアイ 開発中 Safety Sheep Sensor 安全ひつじα	SEKISUI 積水化学工業株式会社 開発中 ANSIEL アンシエル	TITEC AMENITY LIMITED 開発中 見守りライフ	介護現場から生まれた オリエントテクノロジー 開発中 viva3Q — Orient Technology Co., Ltd. —
ナースコール	アイホン Vi-nurse ビナース	ケアコム CICSS	平和テクノシステム Yuiコール	NAKAYO NYC-Si
	GCOMM 開発 ココヘルパ	名電通株式会社 ナースecoコール	iSEED. 開発中 Seed Makes Future パルモスマートコール PARUMO SMART CALL	
バイタル測定機器	JCV 開発中 SenseThunder	IRIS OHYAMA 開発中 顔認証型 AIサーマルカメラ	株式会社 大倉 開発中 HESTA AI SECURITY GATE	PLEN Robotics 開発中 PLEN Cube
	OMRON	NISSEI		
音声入力システム	EXAWIZARDS CareWiz ハナスト			
訪問系システム	株式会社ロジック Care-wing 介護の翼	ホームネット株式会社 SmaCare スマケア	weL iBow	
服薬管理システム	株式会社 ノアコンツェル 服薬支援システム 服やくん	開発中 harmo		
請求管理システム	FUJITELECOM シニアメイト SeniorMate	株式会社 キューキエンジニアリング 開発中 EAST2 桜 SAKURA	ROBOT PAYMENT 開発中 請求管理ロボ	



CARE KARTE

ケアカルテ

行動分析センサーで検知された情報や、スマートフォンにて介護現場で入力した記録がCAREKARTEに自動記録されます。コール対応もスマートフォンで対応でき、スマホ1台で介護現場の必要な情報を管理可能。CAREKARTE Mobileとの併用も可能です！



利用者情報等

利用者ID 職員ID
ベッド情報 等



サービス計画

利用者ID 週間サービス計画



検知情報

利用者ID 日時
ケアコール 環境検知



介護記録

- ・利用者ID
- ・食事
- ・水分
- ・定期与薬
- ・バイタル
- ・入浴
- ・起床ケア
- ・レク
- ・気分様子
- ・看護処置
- ・個別訓練
- ・日時
- ・おやつ
- ・排泄
- ・臨時与薬
- ・口腔ケア
- ・巡回
- ・就寝ケア
- ・体位交換
- ・ヒアリハット
- ・体重

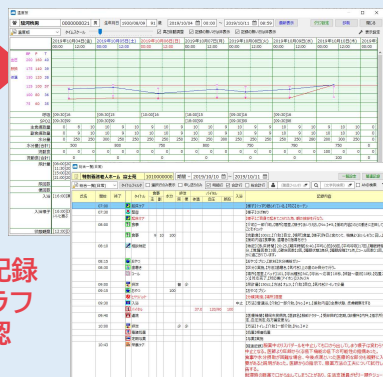
介護記録の追記



CARE KARTE Mobile

記録の確認

検知状況や記録の詳細をグラフや一覧で確認



6 事業所
でツナがっています
※2021.6月時点

KONICA MINOLTA
HitomeQ
Care Support

<https://www.konicaminolta.com/jp-ja/care-support/>

システム管理サーバー



入居者様の状況を一括把握
転倒・転落時の映像確認

ステーション



ケアコール
スイッチ

スイッチを押すとスマートフォンに通知



行動分析
センサー

入居者様の行動を分析、注意行動を認識してスマートフォンに通知

居室



スマートフォン
+記録アプリ

スマートフォンからその場でケア記録/即時共有
スマートフォンを用いた情報伝達

スタッフ



HitomeQケアサポートシステムは行動分析センサーで入居者の行動を認識し、手元のスマートフォンへ映像を通知する新しいワークフローで介護現場を効率化します





CARE KARTE
ケアカルテ

眠りSCANで検知した睡眠等の情報とCAREKARTEの記録(食事、排泄、バイタル、入浴等々)をあわせて表示することで、日中の様子と睡眠の関係性などの分析に役立てることができます

as human, for human
PARAMOUNT BED
眠りSCAN

<https://paramount.co.jp/learn/reductionworkburden/nemuriscan>



利用者情報等

- ・利用者ID
- ・ベッド情報等

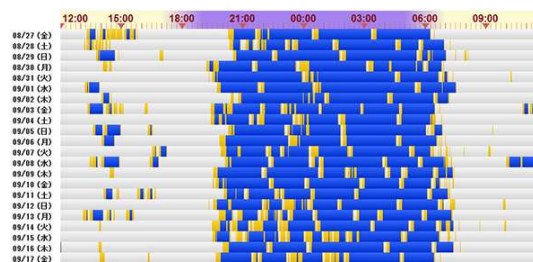
睡眠データ

- ・利用者ID
- ・日時
- ・呼吸
- ・心拍
- ・離床検知
- ・起き上がり
- ・睡眠状態
- ・記録者ID

マットレスの下に設置したセンサにより、体動(寝返り、呼吸、心拍など)を測定して睡眠状態を把握し、ケアプランの改善やスタッフの業務負担軽減、入居者の生活習慣の改善などにお役立ていただけるセンサーです



【リアルタイムモニター】
パソコンなどの端末で施設の各入居者の状態をリアルタイムに一覧で表示されます



【睡眠日誌・呼吸日誌】
測定したデータは睡眠日誌や呼吸日誌として長期的変動を記録、閲覧することができます

ケアカルテ データベース

一覧

■経過記録一覧で利用者の状況把握

氏名	開始	終了	タイトル	食事	水分	排泄	バイタル	入浴	記録内容
富士 太郎	15:00	未定	看護指示						【指示書】看護指示(内容)2時迄時、変更による指示の修正がシステム上で表示するよう指示あり。
	00:00	23:59	呼吸データ						【呼吸】22分/分、【心拍】56分/分、【状態】睡眠
			心拍データ						【心拍】56分/分、【心拍】56分/分、【状態】睡眠
			睡眠データ						【呼吸】22分/分、【心拍】56分/分、【状態】睡眠
	01:00		呼吸SCAN						【呼吸】18分/分、【心拍】57分/分、【状態】睡眠
	02:00		呼吸SCAN						【呼吸】15分/分、【心拍】54分/分、【状態】睡眠
	02:50		コール						【場所】318、【内容】2001、【呼出種類】離床、【呼出～応答】11秒、【検知～復帰】0秒
	03:00		呼吸SCAN						【呼吸】13分/分、【心拍】54分/分、【状態】睡眠
	03:55		排泄						【方法】オムツ(介助)全介助
	04:00		呼吸SCAN						【呼吸】14分/分、【心拍】56分/分、【状態】覚醒
	05:00		呼吸SCAN						【呼吸】15分/分、【心拍】56分/分、【状態】覚醒
	05:45		排泄						【方法】オムツ(介助)全介助、【内容】介助交換
	06:00		呼吸SCAN						【呼吸】12分/分、【心拍】54分/分、【状態】覚醒
	06:14		コール						【場所】318、【内容】2001、【呼出種類】離床、【呼出～応答】7秒、【検知～復帰】0秒

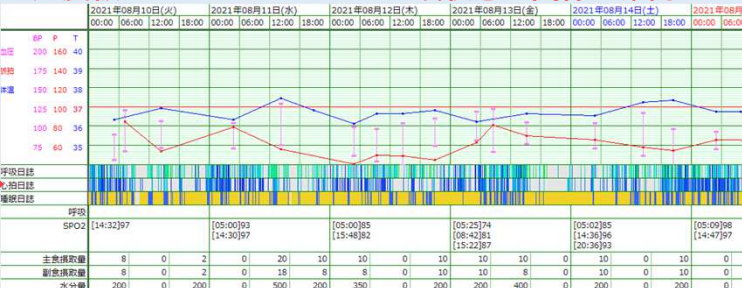
グラフ

■時間軸上で睡眠と食事等介護の相関関係を確認



グラフ

■温度板でバイタルデータと睡眠状態の関係を確認



166 事業所
でツナがっています
※2021.6月時点



デイサービスの連絡ノート

日々の様子を確認いただける記録一覧

利用者毎のID・パスワードを発行

施設での様子など毎日の状況を確認

家族

ご家族からの連絡

ケアマネ 記録や帳票等を確認

関係者からの連絡 主治医

ケアカルテ 介護記録データベース

経過グラフ



ケース記録

静岡秋男様のご様子

写真(個人)

13:30

個別機能

14:00 内容 リハビリ, 按摩マッサージ, ホットパック

14:00 区分 実施

チャットでのやり取り

2022/07/16

14:08 いつもお世話になっております。

14:09 明日、面会に行きますので宜しくお願いします。

通所介護 フジケア

2022年07月15日

静岡秋男様のご様子

写真(個人)

13:30

13:30

個別機能

14:00 内容 リハビリ, 按摩マッサージ

14:00 区分 実施

おやつ

15:00 水分量 120cc 様子 うれしそう

15:00 おやつ おはぎ 飲料 お茶

事故

15:25 場所 デイルーム 部位 右ひざ

15:25 状況詳細 立ち上がろうとして、

看護処置

15:30 人体図 対応 処置を実施...

通所介護 フジケア

2022年07月15日

写真



昼食

献立 ごはん、みそ汁、サバの

主食 10

副食 10

おやつ

おやつ まんじゅう

摂取量 半分

飲料 お茶

バイタル

体温 36.2

血圧 111/87

(事例)

CAREKARTE導入に伴い「介護カルテによる情報管理」

CAREKARTE Liveを活用した「ご家族連絡サービス」

を実費サービスに。

例：入所者100名の特養の場合

介護カルテによる情報管理費 @¥500/月
ご家族連絡サービス費 @¥100/月

¥600×100人 = 月60,000円

- ・ **14:30-15:00** 介護老人保健施設長浜メディケアセンター
在宅部長 鈴木雅晴さま
- ・ **15:30-15:30** 介護老人保健施設いこいの森
相談員 吉川有理さま



CARE CONNECT JAPAN

株式会社ケアコネクトジャパン

URL <https://www.carekarte.jp/>



地域ケア経営マネジメント研究所

URL www.care-bigdata.jp

拠点	住所	電話番号	FAX番号
 静岡本社	〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町18-1 サウスポット静岡15F	054-202-0300	054-202-0277
 札幌営業所 地域ケア経営マネジメント研究所 	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西3丁目1番地 敷島ビル4F	011-211-1237	011-211-1247
 東京支店	〒108-0074 東京都港区高輪3-24-18 高輪エンパイヤビル4F	03-6718-4105	03-6718-4106
 京都支店	〒604-0847 京都府京都市中京区烏丸通押小路 上ル秋野々町535番地 日土地京都ビル3F	075-221-7744	-
 福岡支店	〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2丁目17番19号 安田第5ビル5F	092-452-1210	092-452-1215
 沖縄支店	〒904-0101 沖縄県中頭郡北谷町上勢頭813-4 住太郎北谷ビルⅡ 3F	098-989-3552	098-989-3559
 岐阜羽島営業所	〒501-6257 岐阜県羽島市福寿町6-22-1F	058-372-3490	058-372-3491

KaiGO DX?



www.carekarte.jp

